

—次は君たちの番だ



未来を、心を、動かす。

びわこ成蹊スポーツ大学

BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

〒520-0503 滋賀県大津市北比良1204番地

TEL. **077-596-8446** (スポーツ統括課)

URL. <https://biwako-seikei.jp> (大学ホームページ)

<https://bss-nyushi.jp> (入試ナビ)

※在学生の学年表記は、2024年度のものです。

写真提供: ©JVL

NEXT



**GOTO
KANDAI**
Tokyo-Greatbears

Kandai #28



**KUDO
MANATO**
Vegalte Sendai

Man

BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE
CLUB PAMPHLET

Bivako Topics
2023

リーグクラブ 3名同時加入!

SHIBASHI KATSUYUKI



石橋 克之

出身高校：島根県
立正大学松南高等学校

FC大阪 (J3)への加入内定

大学の4年間では、様々な場面で自ら考えて行動することを求められてきました。その中で、常に目指すゴールから逆算して考えることの重要性を学ぶことができました。これからは自分の人生に携わってくれた指導者や仲間、そしてどんな時もそばで支えてくれた家族への感謝の気持ちを持って、たくさんの人に勇気を与えられるように頑張ります!



©2009 F.C.OSAKA

プロの世界に挑む
サッカー部員たち

工藤 真人

ベガルタ仙台ユース
出身高校：宮城県
仙台大学附属明成高等学校

ベガルタ仙台 (J2)への加入内定

サッカーに打ち込める環境が整っていて、プロになることを目指してびわこ成蹊に来た自分にとっては何一つ不自由のない4年間でした。これからは1番好きなクラブ「ベガルタ仙台」で再びプレーできる喜びを噛みしめながら、これまで自分に携わってくれた指導者、チームメイト、そして家族への感謝の気持ちを忘れずに頑張ります!



©VEGALTA SENDAI



KUDO MANATO

男子サッカー部から石橋克之、工藤真人、清水一雅の3選手がリーグの舞台へ旅立ちます!
入学当初からTOPチームでプレーしてきた3選手は、それぞれの持ち味を存分に発揮し、2022年には夏の全国大会である総理大臣杯でベスト4という成績を収め、クラブの歴史を塗り替えました。
これからプロの世界で戦う3選手に、大学4年間の学びとこれからの抱負を聞きました。



©2008 FUKUSHIMA UNITED FC

福島ユナイテッドFC (J3)への加入内定

2年次生の冬のインカレで前十字靭帯断裂の大怪我を負い、長期のリハビリは本当に苦しかったですが、それを乗り越えたことでより成長できたと実感しています。これまで支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、チームに欠かせないストライカーになります!



清水 一雅

ベガルタ仙台ユース
出身高校：宮城県
仙台大学附属明成高等学校

TOHO



工藤と清水は 高校からのチームメイト。 共にプロを目指し夢を叶えた同志!

高校から併せて7年間同じピッチでプレーした2人。
清水選手は「真人は常に自分を見てくれている。絶対にパスが出てくると信じて走っていました」と語り、工藤選手も「多少難なパスのほうが一雅は活けるので、他の選手に出すパスとは使い分けて出していました」と、互いのことを理解し合いながらプレーしていたことが伺える。別々のチームでプレーする2人は「7年間も一緒にいたのでそろそろ離れたいです(笑)」と冗談を言い合ったが、プロの世界で再びプレーする瞬間が訪れるのが楽しみである。



高校時代の工藤(右)と清水(左)

FOOTBALL
男子サッカー部

SHIMIZU KAZUMASA

Bivako Topics
2023

V1リーガー誕生!

東京グレート
ベアーズに加入

GOTO KANDAI



男子バレーボール部 1部昇格!

2023年8月に男子バレーボール部に所属する五頭寛大選手が、バレーボールVリーグ(V1リーグ)に所属する東京グレートベアーズと2023-24シーズンの新規選手契約を締結し、本学から初のV1リーガーの誕生となった。

五頭選手は、同チームのトライアウトを経て、高身長でありながらも持ち前のレシーブ力を高く評価され、見事加入が決定。V1リーグの試合に出場し、国内

トップ選手のサーブやスパイクのスピードやパワーを体感できた。

五頭選手は、2024年は男子バレーボール部に籍を戻し、関西大学バレーボール春季リーグ戦に出場する見込み。その男子バレーボール部は2023年秋季リーグ戦において、2部リーグで見事優勝し、2024年は1部リーグの舞台に復帰する。パワーアップした五頭選手も加わり、全員で悲願の「全日本インカレ出場」を目指す。



五頭 寛大 (4年)

出身高校：京都府
東山高等学校



2023-24シーズンから 東京グレートベアーズへ加入

在学中にVリーグへ挑戦できるとは思ってもおらず、大学のチームメイトやスタッフには迷惑をかけたが、今ではVリーグに挑戦して本当に良かったと思います。

サーブやスパイクの速度や球威など大学では体験できない高いレベルでプレーさせていただいたことで、自分の強みや課題などに気づくことができました。これからは競技者として切磋琢磨し、「日本代表」入りを目指します。

VOLLEYBALL

男子バレーボール部



岩波 湊人 (3年)

出身高校：大阪府
大阪桐蔭高等学校

滋賀県の代表チームとしてこのような大きな舞台に出場できたことを誇りに思い、僕自身も出身地である滋賀県の代表として出場できたことをとても嬉しく思います。しかし、全国の格上のチームに勝つというのは簡単ではなく、自分の実力の無さを実感する大会になりました。来シーズンもこの舞台に戻るため、まずは滋賀県の代表として出場できるように、滋賀県総合バスケットボール選手権大会でも格上のチームを倒し2連覇を目指します。

インカレ初出場!



「堅守速攻」のプレースタイルで
全国ベスト16を達成!

関西学生ハンドボール秋季リーグ戦(1部リーグ)でいくつもの接戦を勝利し、4位(成績:5勝3敗1分)となり、見事創部5年目で初の全日本学生ハンドボール選手権大会(インカレ)の出場権を獲得した。

インカレでは、1回戦で東北福祉大学(東北1位)と対戦。前半から試合を優位に進め、29-21で全国大会初勝利を収めた。翌2回戦では関東1部リーグで優勝した筑波大学と対戦し、体格やスピードなど全国トップレベルを目の当たりにし惜しくも敗戦。しかし、初出場でベスト16という偉業を成し遂げた。

女子ハンドボール部の今シーズンの目標を「インカレベスト8」と置く。飛躍を続ける女子ハンドボール部に今後も期待したい。

BASKETBALL

男子バスケットボール部

7月8日(土)・9日(日)に開催された「滋賀県知事杯第68回滋賀県総合バスケットボール選手権大会」で、2019年以来3大会ぶり2回目となる優勝を飾り、「第99回天皇杯全日本バスケットボール選手権大会1次ラウンド」への出場権を獲得した。持ち前の攻撃力で社会人チームを圧倒。本戦では、残念ながら1回戦敗退となったが、同時期に開催されていた関西学生バスケットボールリーグ戦(2部リーグ)では、数多くの接戦をもの

にして準優勝となり、創部以来初めての入れ替え戦に進出した。着実にレベルアップをした男子バスケットボール部は滋賀県総合選手権の2連覇や関西学生リーグ戦の1部昇格を目指す。

滋賀県総合選手権大会で
3大会ぶり2回目の優勝!



関 紗弥 (3年)

出身高校：愛知県
名古屋経済大学市邨高等学校

大学生になって初めて全国の舞台となったインカレでプレーができたことをとても嬉しく思います。チームとしては初めての全国大会だったので、雰囲気にもなれることが不安でしたが、とても楽しく試合をすることができました。今回は、ベスト16という結果で終わってしまいましたが、次はもっと上位を目指し、応援してくださる方々に感謝し、今後も頑張っていきます。

HANDBALL

女子ハンドボール部

関西インカレで躍進！ フィールド&混成W優勝！



個人では
400m・円盤投で優勝！

2023年5月24～27日、ヤンマースタジアム長居にて開催された第100回関西インカレにおいて、フィールド総合、混成総合で優勝(複数の総合優勝は本学初)。リレーでは、4×400mRで3位に入賞した。また、個人では400mで川北脩斗(大学院1年次生)、円盤投で足立琉希(4年次生)が優勝。走高跳で富田惇史(大学院1年次生)が準優勝を果たした。



高校生に向けてメッセージ

足立 琉希 ④年

出身高校：京都府 京都共栄学園高等学校

陸上競技部は強豪校出身ばかりではありませんが、活躍の幅は関西だけでなく、西日本、または全国でも活躍する選手を輩出しています。その裏には、各バートごとに充実したコーチ陣や色鮮やかなブルータータンの第3種公認陸上競技場など、環境が整っています。練習では学ぶことが多く、日々成長を感じられます。競技的にも人間的にものびのびと成長できるびわこ成蹊の陸上競技部。関西インカレ総合優勝という新たな歴史の1ページを僕たちと一緒に創りましょう！

スローガン

「**積水成湖**(積水成淵)」

□ 2023年度成績

<団体>

- ・第100回関西学生陸上競技対校選手権大会 男子1部総合5位 フィールド・混成 優勝 4×400mR 3位
- ・第75回西日本学生陸上競技対校選手権大会 4×400mR 6位
- ・第92回日本学生陸上競技対校選手権大会 19名出場

<個人>

- ・川北脩斗(大学院1年次生) 第76回西日本学生陸上競技対校選手権(西日本インカレ) 400m 優勝
- 2023日本学生陸上競技個人選手権大会 400m 6位
- ・足立琉希(4年次生) 第76回西日本学生陸上競技対校選手権(西日本インカレ) 円盤投 優勝
- 2023日本学生陸上競技個人選手権大会 円盤投 8位
- ・富田惇史(大学院1年次生) 2023日本学生陸上競技個人選手権大会 走高跳 7位
- ・倉凌雅(3年次生) 第20回U20アジア陸上競技選手権大会 走幅跳 6位
- ・副島珠華(2年次生) 第39回U20日本陸上競技選手権大会 三段跳 7位



男子サッカー部

スローガン

「**繋(きずな)**」

□ 2023年度成績

- ・第101回関西学生サッカーリーグ 8位
- ・第38回デンソーカップチャレンジサッカー 福島大会 関西選抜：倉原 将



高校生に向けてメッセージ

向田 新 ④年

出身高校：滋賀県立野洲高等学校

男子サッカー部は、部員300人を超える大所帯で活動しています。自然豊かな場所に位置した大学内のグラウンドで大きな比良山を見ながら日々トレーニングに励んでいます。サッカーに集中できる環境は整っています。サッカー部では「学校の学業も自分のスポーツに活かす!」という点で、自ら主体性を持ち進化する選手達が集まっています。ぜひ僕達と共にこの大学で夢を掴み取りましょう!



硬式野球部(男子)

スローガン

「**びわこを頂点に!**」

□ 2023年度成績

- ・京滋大学野球連盟春季リーグ戦 4位
- ベストナイン(捕手):菅原洸太(4年次生)
- (外野手):佐藤功太・田中善人(3年次生)
- ・京滋大学野球連盟秋季リーグ戦 3位



高校生に向けてメッセージ

藤川 駆嵐 ④年

出身高校：大阪府立福井高等学校

硬式野球部は大学日本一を目標に地域に愛される野球部を目指して活動しています。キャンパスの中に専用グラウンドがあり、とても充実した環境が整っています。監督、コーチ、学生スタッフからのサポートも手厚く、野球中心の大学生活を共に過ごしましょう。人生も思い通りにいかないことも多いですが、やればやった分だけ結果は出ると思います。その結果を良いものにするための努力は惜しみません!!1度きりの人生の選択でびわこ成蹊の硬式野球部に入部したことを後悔させません。生まれた場所、育った環境、全てにおいて違うもの同士が接続して調和する美しさ、1人の人間としての価値観を野球という競技を通して学びましょう。いざ!びわこから神宮へ!数多くの仲間と共に神宮にいこう!





FOOTBALL

高校生に向けてメッセージ

出身高校：広島県 広島文教大学附属高等学校 **利光 愛雪** (4年)

女子サッカー部は、インカレ出場を目標に日々練習に励んでいます。オフシーズンにも週末には必ず試合機会があり、部員全員が試合経験を積むことができます。この環境でサッカーをすることで、シーズンを通して一人ひとりが目に見える成長をすることができます。また、上下関係も厳しくないで先輩・後輩関係なく意見を出し合うことでチームの雰囲気がとても良いです。ぜひあなたも女子サッカー部の一員になり、私たちと一緒にインカレ出場を目指しませんか？

女子サッカー部

スローガン **「Do my best」**

- 2023年度成績
- ・第52回関西女子サッカー選手権大会(皇后杯予選) 優勝(2連覇)
 - ・関西学生女子サッカー春季リーグ(1部リーグ) 7位
 - ・関西学生女子サッカー秋季リーグ(1部リーグ) 6位



BASKETBALL

高校生に向けてメッセージ

出身高校：兵庫県 三田松聖高等学校 **森本 愛彩** (3年)

女子バスケットボール部は、2部全勝優勝、1部昇格を目標に、日々練習に取り組んでいます。私たちのチームは、先輩後輩関係なく部員同士の仲が良いので、楽しく、本気で毎日バスケットができています。また、様々な高校、大学と練習試合をする機会も多くあるので、個人個人が成長できる環境です。私たちと一緒に目標を達成しましょう！

女子バスケットボール部

スローガン **「Beyond…」**

- 2023年度成績
- ・関西女子学生バスケットボールリーグ戦(2部リーグ) 8位
 - ・関西学生女子バスケットボール秋季トーナメント大会 4位



BASKETBALL

高校生に向けてメッセージ

出身高校：石川県 北陸学院高等学校 **山本 将大** (2年)

男子バスケットボール部は、関西学生バスケットボールリーグ1部昇格を目標として掲げ、日々練習しています。チームの特徴は、練習の中で選手それぞれが主体性をもってバスケットボールと向き合っているところです。創部初の1部昇格を私たちと共に目指したい、学生らしいひたむきなプレーでチームに貢献したい、そういったフレッシュマンを心待ちにしています！

男子バスケットボール部

スローガン **「STEP UP」**

- 2023年度成績
- ・第99回天皇杯・第90回皇后杯 1次ラウンド 中日本大会 出場
 - ・関西学生バスケットボール リーグ戦(2部リーグ) 2位



VOLLEYBALL

高校生に向けてメッセージ

出身高校：京都府立東陵高等学校 **青木 駿也** (4年)

男子バレーボール部の目標は、全日本インカレ出場です。常にびわこのバレーボール部であることを意識をしながら学生生活を送り、オンオフの切り替えができる楽しい部活です。日々の練習では学生同士でメニューを考えて、勝利にこだわっています。

男子バレーボール部

スローガン **「強全爽考 ～びわこから世界へ～」**

- 2023年度成績
- ・関西大学バレーボール春季リーグ戦(2部リーグ) 3位
 - ・ベストリベロ賞・サーブ賞：五頭寛大(4年次生)・ベストスコアラー賞：一色真光(3年次生)
 - ・関西大学バレーボール秋季リーグ戦(2部リーグ) 優勝(1部昇格)
 - ・天皇杯全日本バレーボール選手権大会滋賀県ラウンド 優勝(2連覇)



VOLLEYBALL

高校生に向けてメッセージ

出身高校：大阪府 金蘭会高等学校 **繁田 香春** (2年)

女子バレーボール部は今年中に2部昇格！そして1部に上がることが目標です。私たちの強みは1年次生から4年次生までとても仲良く、練習でも楽しみながらお互いに高め合っていることです。今年中に絶対に2部に昇格してみせすし、これから注目的になること間違いなしです。そんな私たちと一緒にバレーボールを楽しむのもよし！私たちのサポーター(マネージャー、アナリスト)を務めるのもよし！今後の活躍と一緒に体験してみませんか？

女子バレーボール部

スローガン **「水急不月流」**

- 2023年度成績
- ・関西大学バレーボール春季リーグ戦(3部リーグ) 3位
 - ・関西大学バレーボール秋季リーグ戦(3部リーグ) 3位



HANDBALL

高校生に向けてメッセージ

出身高校：大阪府 宣真高等学校 **阿川 若奈** (4年)

女子ハンドボール部は、関西学生ハンドボール1部リーグ3位、インカレベスト8を目標に日々練習に励んでいます。私たちのチームは1年次生から4年次生まで仲良く、意見も言い合える環境です。また、実業団やアンダーチームの指導経験がある監督のもと、基礎から丁寧に教えていただくことができています。

女子ハンドボール部

スローガン **「己を信じ、仲間を信じ、相手を敬い、全力を尽くす」**

- 2023年度成績
- ・関西学生ハンドボール春季リーグ戦(1部リーグ) 9位
 - ・関西学生ハンドボール秋季リーグ戦(1部リーグ) 4位
 - ・第75回日本選手権近畿予選大会 ベスト4
 - ・女子59回日本学生ハンドボール選手権大会 ベスト16



HANDBALL

高校生に向けてメッセージ

出身高校：福岡県立筑紫中央高等学校 **三好 優雅** (4年)

男子ハンドボール部は、関西学生ハンドボールリーグ1部昇格、西日本インカレ出場、その先のインカレ出場に向けて、日々の練習に励んでいます。今年度で創部6年目とまだまだ若く未熟なチームですが、一人ひとりが高いモチベーションで練習に取り組んでいます。経験者・未経験者を問わず大歓迎です！一緒にハンドボールをしてみませんか？

男子ハンドボール部

スローガン **「己を信じ、仲間を信じ、相手を敬い、全力を尽くす」**

- 2023年度成績
- ・関西学生ハンドボール春季リーグ戦(3部リーグ) 優勝(2部昇格)
 - ・関西学生ハンドボール秋季リーグ戦(2部リーグ) 5位



SWIMMING

高校生に向けてメッセージ

出身高校：滋賀県立玉川高等学校 **望月 智裕** (4年)

私たちの目標は関西学生選手権男子1部残留、女子1部昇格です。毎日サポートをしてくださる指導者、マネージャー、家族への感謝を忘れず、日々の練習に取り組んでいます。今年度チームコンセプトは「頂」です。皆さんもびわスポ水泳部の一員として、「頂」を目指しませんか？

水泳部(競泳)

スローガン **「頂」**

- 2023年度成績
- ・第97回関西学生選手権水泳競技大会(2部リーグ) 男子 優勝(1部昇格)
 - ・第97回関西学生選手権水泳競技大会(1部リーグ) 女子 7位(2部降格)
 - ・第99回日本学生選手権水泳競技大会(インカレ) 出場





WATER POLO

高校生に向けてメッセージ

出身高校：佐賀県立佐賀東高等学校

井上 凱登 (4年)

水泳部(水球)は、関西学生選手権1位、日本学生選手権ベスト8を目標に掲げ練習に励んでいます。チームの特徴は、初心者と経験者の両方がいるため、お互いに教え合ったりと非常に仲が良いチームで上下関係も厳しくありません。ときにはお互いの意見を言い合うこともあります。ぜひあなたもチームの一員となり、選手、マネージャー関係なく、私たちと勝利の喜びを分かち合い、日本学生選手権ベスト8を目指しませんか？

水泳部(水球)

スローガン
「全日本総合選手権出場」

□ 2023年度成績

- ・関西学生選手権リーグ戦 優勝
- ・第99回日本学生選手権水泳競技大会 水球競技(インカレ) ベスト8



TENNIS

高校生に向けてメッセージ

出身高校：滋賀県 光泉カトリック高等学校

田井中 蓮太 (4年)

私たちテニス部は現状部員数4人という少人数での活動を行っています。もう一度テニス部を賑やかにしていくため日々の生活や練習に取り組んでいます。テニス部の目標は、一人でも多く本戦に出場できる選手をつくっていくことです。経験者から少しでも興味のある方まで幅広くメンバー募集しています。

テニス部

スローガン
「日本一テニスを愛する人が集まるクラブ」

□ 2023年度成績

- ・団体戦 関西大学対抗テニスリーグ戦(3部リーグ) 6位
- ・個人戦 関西学生春季テニストーナメント本戦 出場



JUDO

高校生に向けてメッセージ

出身高校：滋賀県 綾羽高等学校

田中 悠時 (3年)

柔道部は関西学生優勝に向けて日々練習しています。昨年度は、準優勝という結果で、その悔しさをバネに皆日々練習に取り組んでいます。また、部員の仲が良く柔道を楽しめる環境です。関西学生優勝を目指して一緒に頑張りませんか？

柔道部

スローガン
「関西学生柔道優勝大会 男子2部 優勝」

□ 2023年度成績

- ・関西学生柔道優勝大会男子2部 準優勝
- ・京都学生柔道大会男子2部 2位



SOFTBALL

高校生に向けてメッセージ

出身高校：滋賀県立北大津高等学校

松本 梨世 (4年)

ソフトボール部は、リーグ戦上位に進出し、念願の1部昇格を目標に日々練習に励んでいます。チームの雰囲気はとても良く、学年に関係なく仲が良いので、楽しく部活動に取り組めます。また、日頃からソフトボールができる感謝の気持ちを忘れず、日常面でも責任ある行動をすることを大切にしています。

ソフトボール部

スローガン
「関西学生ソフトボールリーグ戦 2部上位進出」

□ 2023年度成績

- ・第54回春季関西学生ソフトボールリーグ戦(2部リーグ) 6位
- ・ベストブレイク賞：池田紅葉(4年次生)
- ・第54回秋季関西学生ソフトボールリーグ戦(2部リーグ) 7位
- ・ベストブレイク賞：竹内すず(3年次生)・盗塁賞：小松陽菜(2年次生)



TABLE TENNIS

高校生に向けてメッセージ

出身高校：滋賀県 近江兄弟社高等学校

邑上 和也 (4年)

私たち卓球部で重要視していることは、卓球を通じて仲間たちと協力し、人間として成長していくことです。1つのボールに集中することで、人間関係や、自己成長にも繋がります。素晴らしい経験が待っています。卓球部のスローガンである「びわこから全国へ」を掲げて、輝いた大学生活を共に送みましょう。

卓球部

スローガン
「びわこから全国へ」

□ 2023年度成績

- ・関西学生卓球連盟春季リーグ戦(3部リーグ) 2位
- ・関西学生卓球連盟秋季リーグ戦(3部リーグ) 3位



BASEBALL

高校生に向けてメッセージ

出身高校：滋賀県立大津商業高等学校

浅野 希星 (4年)

女子野球は全国的に普及し始めており、滋賀県内の大学では本学が初めての創部です。硬式野球部(女子)は「日本一野球を楽しむ」をスローガンに掲げ、主体性を持って日々練習に取り組んでいます。また、地域のイベントなどにも参加し、滋賀県を盛り上げていける存在になれるように頑張ります。

硬式野球部(女子)

スローガン
「日本一『野球』を楽しむ」

アルティメット部

スローガン「下剋上」



軟式野球部

スローガン「全国大会出場」



フットサル部

スローガン「一致団結」



ソフトテニス部

スローガン「飛躍」



バドミントン部

スローガン「楽しむ」



体操競技部

スローガン「体操の感覚世界を感じ、共有しよう！
～『楽しい』のその先へ～」



ラグビー部

スローガン「継勝」



ゴルフ部

スローガン「トレーニングを積んで、チーム力をあげる！」



ダンス部

スローガン「音楽の『見える化』」



サークル

本学では部活動とサークル活動を両立することができます。競技スポーツだけではなく様々な関わり方で学生生活を楽しもう！

BSSCトレーナーサークル

専門知識とスキルを身につけるため、トレーナーを目指す学生が集まり結成。スポーツ外傷や障害、トレーニングなどの勉強会に取り組み、スポーツコンディショニング相談やトレーニングルームで学生スタッフとして活動しています。

ボランティアサークル(39レンジャー)

児童のキャンプ活動支援やスポーツ教室、地域の祭りのサポートを通じて地域貢献を行っている。他の部活動に所属する部員もあり、個々が取り組めるボランティアに参加。活動の場を全国に広めようと積極的に取り組んでいます。

おもてなしサークル

おもてなしサークルの主な活動内容はオープンキャンパスなどの企画運営です。アイデアを実現するために必要なおもてなし精神を培い、メンバーと一緒に企画運営スキルの向上を目指しています。

アウトドアスポーツクラブ

琵琶湖周辺の山や湖などの自然環境を利用してロードバイク、トライアスロン、マウンテンバイク、SUP、ボート、ウインドサーフィン、スキー、トレイルランニングなどのアウトドアスポーツ活動を行っています。各競技のイベントやレースなどに参加したり自ら企画して冒険活動を行っています。

びわスポ身体操法研究会

古武術とは明治維新以前に日本で行われていた武術の総称。スポーツを行う前に「動く身体」を身につけていれば、本来持つ力が発揮できます。そのヒントとなる古武術の技術を学び、この力を日常生活や競技レベルの向上に活かしています。

空手サークル

武道の一つである伝統の空手。怖いという格闘技のイメージをなくすために、真剣かつ楽しく取り組んでいます。初心者や楽しく学びたい人には、護身術や映画のアクションのようなことを学ぶ活動をしています。また、大会に参加し、近畿No.1を目指します。

ボディメイクサークル

「筋肉」をキーワードにトレーニング好きメンバーが集結し、日々トレーニングを実施しています。食事管理、勉強会の実施、ポージングレッスン等を定期的実施し、メンバー間で切磋琢磨しています。目標は大会出場、部活動への昇格を目指します。

広報サークル

学内および学内周辺での本学学生、教職員の活動をSNSなどを通じて情報発信をしています。また、学内周辺での取材・記事作成を行うとともに、定期的に勉強会も実施しています。



SUPPORT



応援グッズで会場を
びわこカラーに！

先輩方が応援グッズとして、スティックバルーンを作っており、私たちも新たな応援グッズを作りたいと考え、フォームフィンガーを作成しました。今年は“目立つ応援グッズ”で試合中でも目にとまり、応援してもらっていることを実感できるものを作成できたと思っています。自分たちで企画し、グッズを完成させることができたことは自信になりました。これからも色々なことにチャレンジしていきたいです！

学生会競技スポーツ委員会(GAC)

向田 新 4年 三枝 みつは 4年
出身高校：滋賀県立野洲高等学校 出身高校：京都府立北嵯高等学校

マネージャーの
力も合わせて
いざ神宮へ！

硬式野球部(男子)は大学日本一を目標に日々活動しています。人と人との繋がりを大切に、たくさんの人に感謝し感動を与えられるように全力でサポートします！組織を管理すること、スケジュール管理などチームが円滑に回るように取り組んでいます。たくさんの人との交流もあり、その経験は将来に繋がります。

硬式野球部(男子) / 主務

吉岡 健人 4年
出身高校：京都市立塔南高等学校
(現：京都市立開建高等学校)



選手のフィジカルは
僕にお任せ！

将来プロスポーツチームのフィジカルコーチになりたいという目標があり、今年からフィジカルコーチの道に進みました。ウォームアップやウエイトトレーニングの指導、GPSデータのフィードバックなどを行っています。知識だけでなく技術も現場で養い、選手と共に成長していきます。

男子サッカー部 / フィジカルコーチ

深田 稜太 4年
出身高校：兵庫県立北条高等学校



マネージャーの力で
チームに勝利を！

私は、チームのマネージャーとして、遠征や試合などの申請、練習の補助や選手のサポートなど、チームを運営するための活動を中心に取り組んでいます。試合に出てチームに貢献するということはできませんが、普段から仲間に寄り添い、チームを一番に考えて行動することで得られることもたくさんあり、自分自身の人間性とも向き合いながら成長できることを実感しています。

女子バレーボール部 / 主務

原田 博子 4年
出身高校：京都府立向陽高等学校



リアル動画で
陸上競技部の
リアルをお届け！

大学から始めたSNSをきっかけにもっとびわこ成蹊の陸上競技部員の良さを皆さんにお届けしたいと思い、選手をしながら広報としても活動しています。試合結果はもちろん日々の練習風景やオフショットも公開しています。また、私が得意とするリアル動画を通してより多くの人にびわこ成蹊を知ってもらい、SNSをきっかけに『ここで4年間頑張りたい！』と思ってもらうことが私の目標です！

陸上競技部 / 広報担当

島中 初音 4年
出身高校：大阪府 大阪成蹊女子高等学校



スポーツに 対する 様々な 関わり

公式マスコットキャラクター

ひらやん

- 誕生日 10月30日
- 年齢 ? (推定) 1300歳
- 性格 快活
- チャームポイント ブルーラインのある毛並み
- 好きな食べ物 あゆ
- 趣味 比良山系トレイルランニング
- アピールポイント 瞬発力・持久力
- 願い 本学学生の安全と幸せ

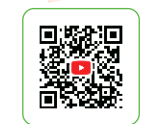


後ろ姿も
要チェック！



みんなを
ささえるで！

びわスポキッズ
プログラムで
子どもたちを笑顔に！



幼稚園・保育園などへの
巡回コーチングの様子

びわスポキッズプログラムは、滋賀県の子どもたちが運動を好きになるための活動で、学生と子どもたちが一緒になって楽しんでいます。私はこの活動を通して、子どもたちの可能性を広げ、子どもたちの夢や希望に繋げることができる、そんな運動あそびの指導者になりたいと思っています。楽しんでいる子どもたちの笑顔を見ながら、共に成長できるように、活動を続けています。

びわスポキッズリーダー

本城 翼 4年
出身高校：兵庫県 市川高等学校



将来は
体育教師に！

私は中学校の教員(保健体育)を目指しており、実際に中学校で部活動指導を行っています。今までの陸上競技の経験を通してメニューを作成し教えることで、自分の指導力を高めることができています。生徒たちの競技力の成長も身近に感じることができ、指導することにより自身の競技特性の体得に繋がります。生徒と共にこれからも成長していきます。

部活動指導

赤井 伊夫貴 3年
出身高校：京都府 京都共栄学園高等学校



LOCAL CONTRIBUTION

NEXT Generation

Player.1

将来は欧州5大リーグでの活躍！
木津 周馬さん 2年次生

出身高校：兵庫県
神戸弘陵学園高等学校



高校時代の
木津さん

Q.本学に入学した理由

一番の理由は大学で勉強したことを部活動に活かすことができ、自分自身の成長に繋がると思ったからです。常にスポーツが身近にあり、自分の好きな環境で生活できると思いました。

Q.1シーズンを通しての感想

最初は全く大学サッカーのスピードに慣れず苦戦しましたが、試合を重ねるごとに良くなってきました。しかし、思うような結果が出ず、悔しい思いをしました。



Q.高校から大学で成長を感じるところ

大学から一人暮らしを始め、家事の大変さを知り、親への感謝の気持ちを改めて感じました。また、自分で考えて行動する「主体性」がとても重要になると感じました。

Q.2024シーズンのチーム目標と個人目標

チームでは「日本一」を目指します。個人としても「日本一」に貢献できるように勉強とスポーツに精進して、心身ともに強さを身につけていきたいです。

Player.2

将来は体育教師！
副島 珠華さん 2年次生

出身高校：福岡県
福岡大学附属若葉高等学校



高校時代の
副島さん

Q.本学に入学した理由

高校の時は多くの種目に出場しており、三段跳だけに専念することは難しかったですが、大学では三段跳に専念し、専門的な先生の指導を受けることでもっと記録を伸ばせると感じたので入学しました。

Q.1シーズンを通しての感想

1年生ながら全日本インカレまで出場できたことは嬉しかったですが、記録としては自己ベストから記録を伸ばすことができず悔しい思いをたくさんしたシーズンでした。しかし、関西インカレで6位、西日本インカレで3位など入賞することもでき、悔しいことばかりではなかったです。今年は記録も伸ばし、もっと入賞できるよう頑張りたいです。

Q.高校から大学で成長を感じるところ

高校では、ウエイトトレーニングの時や補強・体幹トレーニングの時、特に何の意識もせずただひたすらトレーニングをしている感じがしたが、大学では、そのトレーニングがどこを鍛えるためにやっているのかを意識しながら取り組むようになりました。

Q.2024シーズンのチーム目標と個人目標

個人の目標としてはまず、自己ベストを更新

新しく2年次生となる注目の選手に、
大学での学びやスポーツ、クラブ活動の様子を
語っていただきました。



Player.3

将来はユース育成を担う人材になる！
山本 剛大さん 2年次生(左)

出身高校：石川県 北陸学院高等学校

Player.4

将来はアスリートとコーチの二刀流！
山本 将大さん 2年次生(右)

出身高校：石川県 北陸学院高等学校



高校時代の山本 剛大さん

Q.本学に入学した理由

剛大：スポーツに特化した大学で、将来コーチになる上でとても良い環境が整っていると思いました。
将大：スポーツに本気で向き合える環境や学びの機会が整っていて、自分の成長に繋がると思いました。

Q.1シーズンを通しての感想

剛大：徐々に良いパフォーマンスを発揮できましたが、入れ替え戦で怪我をしてしまい、チーム、個人としても悔しい思いをしました。
将大：昨シーズンは多くの人に応援・サポートをしていただき、とても感謝しています。バスケットボールを通して恩返しできるように頑張りたいと思います。

兄 山本 剛大さん



弟 山本 将大さん

Q.高校から大学で成長を感じるところ

剛大：スタートで起用される場面が増え、様々な経験から、シュートの「決定力」が格段に上がりました。
将大：チームの司令塔として大切なゲームメイクのスキルや、周りを活かしながらプレーすることを意識するようになりました。

Q.2024シーズンのチーム目標と個人目標

剛大：チームでは、「1部昇格」という目標を掲げています。そのために個人としては、武器であるスリーポイントシュートを誰よりも磨いていきたいです。
将大：「STEP UP」というチームスローガンのもと、個人としては得点力やゲームメイクの部分を伸ばしていけるようにしていきたいです。